

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103437		
法人名	有限会社なぎさ		
事業所名	グループホームなぎさ		
所在地	長崎県長崎市かき道6丁目3-5		
自己評価作成日	平成22年12月24日	評価結果市町村受理日	平成23年4月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構		
所在地	長崎県長崎市桜町5番3号 大同生命長崎ビル8階		
訪問調査日	平成23年2月8日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念の癒しの心で接しております。皆さんが、穏やかにすごせるような雰囲気作りを心掛けるようにしています。又外出・外食の際は職員全員で楽しく過ごせるよう計画を立てて実行しております。リハビリや痛みの軽減にはホットパックなどと気を配っております。又個人にあった昇降運動等をし下肢筋力低下防止に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

橘湾が望める団地の入口にあるグループホームは広さと清潔感があり、リビングとウッドデッキではゆったりとした時を過ごす事ができる。運営推進会議には自治会長、民生員などが参加しており、地域行事や事業所の運営についての様々な話し合いがなされている。職員は利用者、家族の要望、外部の意見を積極的に聞き入れ、職員間で共有し、介護サービスの質の向上につなげている。地域との交流は盛んであり、地域行事への参加や、感謝祭で介護相談コーナーを設けている。理念である癒しの実践のために、日常的なマッサージ、外部講師による音楽療法、気功教室などを行い、職員がまごころや敬意を持って利用者に接している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月2回の職員会議にて職員全員で理念・経営方針を読み上げ共有し実践に繋がれるようにしている 施設内に掲示し常に目にする事で意識づけをしている	理念に「癒し」と掲げ、毎月2回の職員会議時に理念・経営方針を唱和している。「癒し」を感じてもらえるよう、のんびり、本人の意志に沿った生活支援を実践しており、利用者の足のマッサージ、ホットパックなどを行った際の表情から理念の意味を確認している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のグループホームとの交流や、地域行事(ペーロン大会・敬老会・運動会・もちつき大会)等の参加し交流を図っております	事業所は自治会行事に積極的に参加している。運営推進会議のメンバーに自治会長や老人会の方、民生委員などがおり、地域行事の情報を得ている。事業所の行事の夏祭りに近所の方に来てもらったり、中学校の職場体験の受入等を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームとは、どのように暮らしているかを近隣の感謝祭にコーナーを設け説明したり、又介護用品の扱い方の説明、介護の相談コーナーを設けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者の意見を聞き改善できるところは実施しています。今回3年ぶりの移動があり職員の名前が把握できないと意見があり職員の名札の改善や、消防団との避難訓練をしたらどうかの意見により消防団に参加をしていただきました	運営推進会議は2ヶ月に1回開催されており、市職員他、所定のメンバーが参加している。会議は家族参加の行事の後に開催されることもあるため、家族の参加が5.6名と多い。事業所のサービスの報告や外部評価の報告の他、運営について意見交換を行い、出た意見を運営に反映させている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市・県主催の研修は出来るだけ参加し、施設・運営・利用者様へのケアサービスに繋がっている	以前行っていたグループホーム連絡協議会を通じての市担当者との意見交換会を次回も予定している。市のすこやか支援課の職員が事業所に来て一緒に食事をし、利用者と一緒に話をしたり、気づきをいってもらうなど関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様のペースにて入床時間は異なります。行動を職員全員把握し常に目配りし連携をとっている	一部の職員は過去に身体拘束廃止促進員養成研修などに参加している。家族の要望でも身体拘束に当たる場合は説明し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。内部研修などの職員研修は行われていない。	すべての職員に内部研修や勉強会などの機会を設け、すべての職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体拘束をしないケアの実践に取り組むことに期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について職員会議でもお話しいたしましたが今後も定期的に学ぶ機会を設けたいと思います。		

グループホームなぎさ(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員の学ぶ機会を作るよう計画しております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明し同意を得ています。又わからない事があれば詳しく説明をしております。要望も聞くようにしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にてご家族の意見を聞いております。会議の参加者の中に第三者委員の苦情係の方も来られています。意見箱を設置し要望・苦情を出していただき反映させております	家族意見は運営推進会議時や面会時、電話連絡時に聞くようにしている。利用者からも職員に直接意見があったり、意見箱を通じての意見、要望がある。職員の名札を見えやすいようにするなどの家族意見の反映や、利用者の細かい要望にも対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回の職員会議にて意見交換をしております月一回はカンファレンスを開き利用者様への対応など話す機会があります。又賞与をいただく際職員一人一人が社長との面談にて話す機会も設けております。	法人の代表は毎月の会議に参加し、年に数回は個別に話す機会を設けている。夜間等は人員の関係もあり、併設の有料老人ホームの職員との連携が必要であるといった話し合いを行っている。管理者は何でも話してもらえるような雰囲気作りを行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課表にて職員の実績を評価しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回職員会議にて、外部より講師を招き勉強会を行ったり、職員一人一人にあった研修に日勤扱いにし、行く機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームで地区会を開催したり、事例発表を行ったり、又同業者同士の行事に招待したり参加したりと交流を図っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人さんに要望を聞いたり、伝える事が難しい方は何をしたいのか考え、昔の情報のなどを御家族に聞きサービスに活かしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を聞くように心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリをしていただきたいとの要望がある方は、病院にてのリハビリを行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に洗濯ものを干したり、畳んだり、又入浴準備、シーツ交換も職員と一緒にしております。利用者様がお茶の葉を詰めたり時におやつも一緒に作っております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会はいつでもできるようにしております。又行事にも参加の呼びかけをしたり、ご家族と一緒に行事の出し物をしたりしております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人へ年賀状を書いたり、電話でお話もされております。訪問も度々あります。	家族や本人から「暮らしの情報シート」を活用し、生活歴を聞き出している。利用者の病院受診帰りに、自宅近くをドライブしたり、ホーム宛てに来た利用者への年賀状の返事を利用者と一緒に作成するなどの支援等行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に活動することが多く、運動も個別メニューですけど、一人が運動する際はほかの利用者さんは掛け声をしたりし運動後は、歌を歌って過ごしております。他者との関わりがなかった方も今では輪に入り楽しく生活しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されている病院へ面会に行ったり又ご家族もホームの方へ来てくださいます。今年は、退所された方の白寿のお祝いに職員で病院へ行きお祝いいました		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の状態の変化に合わせて対応する	意向、希望を表せる利用者については、細かいところまで把握し、文書化して職員だれもが共有できるようにしている。困難な方には、表情などで汲み取ったり、家族に協力を得ながら意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は、入所時お聞きしております。好きな歌手・趣味を聞きサービスに取り入れることもあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間で話し合い個々にあった運動・休養のサービスに努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング・プラン説明時意見を聞き、入居者様の現状に添った計画・情報交換しプランへ生かすようにしております	日頃のサービスを行う中で得た家族、本人の要望をもとに、担当者がアセスメントを行い、そのアセスメントを持ち寄って、職員全員で話し合い、介護計画を作成している。利用者の状態変化があった場合は随時の見直しがおこなわれている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月25日をカンファレンスの日と決め職員間で話し合いケアの見直しを行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診(内科の定期受診・リハビリ・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族の結婚式へ連れて出かけたり、入浴困難な方は、併設されたデイの機械浴にての入浴をしております		

グループホームなぎさ(1階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方が慰問に来られ、演奏・又利用者様と一緒に炭坑節を踊ったりされました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様の健康状態で異常があれば受診しその都度説明し納得をさせていただいている	本人、家族の意向に沿ったかかりつけ医への受診支援を行っている。緊急時には24時間対応可能な医療機関と関係を構築している。診時には職員が付き添い、受診結果は電話や面会時に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化・気づきは常に提携病院の看護師に報告しております。又看護師の方から電話もいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	参加者の意見を聞き改善できるところは実施しています。今回3年ぶりの移動があり職員の名前が把握できないと意見があり職員の名札の改善や、消防団との避難訓練をしたらどうかの意見により消防団に参加をしていただきました		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明している。今は、入院3週間後、退院のめどがつかない場合(医療行為が必要)は退所となっております。かかりつけ医院に入院となる	事業所の方針、体制により現在のところ、看取りケアは行っていません。しかし代表者は看取りケアへの取り組みや、職員研修、教育など、体制作りの必要性を感じている。	利用者や家族のニーズをくみ取りながら、安心して納得した終末期を迎えられるように、医師、職員等チームで方針を話し合い、終末期に向けた体制作りを行うことを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応を外部の講師より職員会議にて勉強会を行いました。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防団の方に避難訓練時参加していただきました。火災・土砂災害想定避難訓練を年に3回実施しており職員の意識づけをしております	年に3回実施し、夜間を想定した訓練が行われている。火災の他に土砂災害を想定した訓練が行われており、消防署の指導や地域消防団の参加も行われている。火災通報装置を使用すると消防署の他、地域の消防団にも連絡が行くようになっており、協力体制が築かれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様へ対しての言葉使い・動作にも充分注意しスタッフ間もお互い気配りをしている	失禁した場合には、他の利用者にわからないよう速やかに誘導している。職員は利用者に失敗したという気持ちにならないよう、お通じがでて良かったなどと声かけを行っている。職員入社時には守秘義務関する誓約書をとっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が入浴後の洋服を決めたり、外食時は好きな食事を選んでいただいております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人ペースに合わせ生活しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	夏祭りでは、ゆかたを着られたり、行事の時はお化粧をしたりされております。毎朝鏡をみてのブラッシングしていただいております。髪の毛のカットもその方にあつた髪型・希望に沿うよう努めております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	肉嫌いの方は魚料理に変更しております。箸を並べたりテーブルを拭いてもらったりしています	食事の下ごしらえや片づけ、食後の掃除などを職員と一緒にやっている。本人の希望を聞き、外食の支援を行っている。職員は利用者と同じものを食べ、スムーズに食事が取れるよう支援している。料理の本を見せておやつ、献立の要望を聞き出している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量の一日の目安の表を用い水分摂取に心がけております。食事量の少ない方には、医師の指示にてエンシュアにて栄養摂取しております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人で口腔ケアの方法は異なります。毎食後のケアに努め特に夕食後は、口腔用スポンジを使用してケアを行う利用者様もいらしゃいます。夜間は、義歯のポリドントにての洗浄をしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄間隔又行動を観察し失禁の回数を減らし気持ちよく過ごしていただけるよう努めております	排泄パターンの把握はチェック表にて行い、職員全員で共有し、声かけを行えるようにしている。誘導により日中はトイレでの排泄を行えるようになった方やおむつから布パンツに改善した利用者がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取と運動をしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日は決まっておりますが、本人さん希望により一人で入浴される方、最後にゆっくり入りたい方、利用者様の意見を取り入れ施行しております	入浴日、時間は決まっているが、希望により順番や時間等、柔軟に対応している。浴槽の温度は利用者それぞれの好みの温度があり、温度計を用いて調整されている。本人の希望で併設のデイスサービスでの機械浴を行っている方もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のペースにて入床時間は異なります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は、個人の日誌につけております。いつでも職員がみられるようになっております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自室に仏壇があり毎朝お花の水やりや、お茶・水・ごはんを備えております。生活歴を取り入れた運動や、みなさん役割があり、日々実践しております。又CDラジカセ・TVを自室においている方もいます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望があれば対応できるようにしております。又地域行事には地域の方のご協力のもと参加させていただいております。ご家族の結婚式にも利用者様を連れて行きました。	年間行事に季節のお花見や外食等の機会を設け、外出支援を行っている。車いすの方も参加している。その他にも本人の希望があれば柔軟に対応し、ドライブなども行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には、好きな物を買えるように支援をしております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を出したり、電話はかけたり、かかってきたりしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	年配者が好む唄、リラックスできる音楽を流したり、季節の草花を生けております	除湿器、加湿器、温度計を用いて気温等の調整をおこない、職員が食後3回ハイター消毒やモップ掃除を行い、感染症予防を行っている。利用者が毎月手作りのカレンダーを作成し、絵柄等で季節を感じてもらえるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファがあり、気の合う方が一緒に座りお話し・歌を楽しむことができます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族とご本人が好まれている写真・飾り物など自由にされ居心地のよい居室にしている	居室への持ち込みは制限していない。位牌持ち込みの利用者へ、ご飯、お茶、花瓶の水の交換を職員が支援している。CDの持ち込みなどもあり、好きなことを居室で行っている。夜間帯の0時と4時に湿度、温度管理を行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	てすりがあります。廊下のですりにて運動を実施している利用者様がいらっしゃいます。トイレ・風呂の場所がわかりやすいように大きく表示しておりトイレは便所とかいております		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103437		
法人名	有限会社なぎさ		
事業所名	グループホームなぎさ		
所在地	長崎県長崎市かき道6丁目3-5		
自己評価作成日	平成22年12月24日	評価結果市町村受理日	平成23年4月6日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉総合評価機構
所在地	長崎県長崎市桜町5番3号 大同生命長崎ビル8階
訪問調査日	平成23年2月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

日々癒しの心で接しております。ウッドデッキがあり、過ごしやすい季節の際はお茶をしたりひなたぼっこをしたりのんびり過ごしております。又リビングにても入居者様が揃って過ごすことがほとんどです。入居者様のペースに合わせ毎日を楽しみ過ごしております。昇降運動・立位運動など個人にあった運動をし下肢筋力低下を防いでおります 無理がないよう楽しくできる運動や生活リハビリを取り入れております。 外食では、利用者様のご希望を聞きお店を選んでおります。空調管理も各居室気配りをしております。 地域行事には、参加を心掛け触れ合う場作りを支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) ○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) ○
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) ○	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) ○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) ○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) ○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) ○	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12) ○
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) ○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う ○
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) ○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う ○
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) ○		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎月2回の職員会議にて職員全員で理念・経営方針を読み上げ共有し実践に繋がられるようにしている		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣のグループホームとの交流や、地域行事(ペーロン大会・敬老会・運動会・もちつき大会)等の参加し交流を図っております		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	グループホームとは、どのように暮らしているかを近隣の感謝祭にコーナーを設け説明したり、又介護用品の扱い方の説明、介護の相談コーナーを設けています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者の意見を聞き改善できるところは実施しています。今回3年ぶりの移動があり職員の名前が把握できないと意見があり職員の名札の改善や、消防団との避難訓練をしたらどうかの意見により消防団に参加をしていただきました		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にてすこやか支援課の方に参加していただきサービスのお取組など見ていただいております		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は行っておりません。日頃より身体拘束のないケアを心がけております		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について職員会議でもお話しいたしましたが今後も定期的に学ぶ機会を設けたいと思います。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員が学べるような機会を計画立てております		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に説明し同意を得ています。又わからない事があれば詳しく説明をしております。要望も聞くようにしております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議にてご家族の意見を聞いております。会議の参加者の中に第三者委員の苦情係の方も来られています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月2回の職員会議にて意見交換をしております月一回はカンファレンスを開き利用者様への対応など話す機会があります。又賞与をいただく際職員一人一人が社長との面談にて話す機会も設けております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課表にて職員の実績を評価しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に数回職員会議にて、外部より講師を招き勉強会を行ったり、職員一人一人にあった研修に日勤扱いにし、行く機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣のグループホームで地区会を開催したり、事例発表を行ったり、又同業者同士の行事に招待したり参加したりと交流を図っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人さんに要望を聞いたり、伝える事が難しい方は何をしたいのか考え、昔の情報のなどを御家族に聞きサービスに活かしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の要望を聞くように心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	リハビリをしていただきたいとの要望がある方は、病院にてのリハビリを行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に洗濯ものを干したり、畳んだり、又入浴準備、シーツ交換も職員と一緒にしております。利用者様がお茶の葉を詰めたり時におやつも一緒に作っております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会はいつでもできるようにしております。又行事にも参加の呼びかけをしたり、ご家族と一緒に行事の出し物をしたりしております		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人へ年賀状を書いたり、電話でお話もされております。訪問も度々あります。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一緒に活動することが多く、運動も個別メニューですけど、一人が運動する際ほかの利用者さんは掛け声をしたりし運動後は、歌を歌って過ごしております。他者との関わりがなかった方も今では輪に入り楽しく生活しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されている病院へ面会に行ったり又ご家族もホームの方へ来てくださいます。今年は、退所された方の白寿のお祝いに職員で病院へ行きお祝いいました		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族の要望・本人さんの意向を大切に支援しております		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴は、入所時お聞きしております。好きな歌手・趣味を聞きサービスに取り入れることもあります。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	スタッフ間で話し合い個々にあった運動・休養のサービスに努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングにてご家族に要望を聞きカンファレンスを行い計画作成をしております		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎月25日をカンファレンスの日と決め職員間で話し合いケアの見直しを行っています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診(内科の定期受診・リハビリ・眼科・皮膚科・耳鼻科)の支援をしております。又ご家族の結婚式へ連れて出かけたり、入浴困難な方は、併設されたデイの機械浴にての入浴をしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方が慰問に来られ、演奏・又利用者様と一緒に炭坑節を踊ったりされました		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様の意向に沿った受診をしています。又医療機関との連携を図り24時間対応してまいります		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変化・気づきは常に提携病院の看護師に報告しております。又看護師の方から電話もいただいております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	参加者の意見を聞き改善できるところは実施しています。今回3年ぶりの移動があり職員の名前が把握できないと意見があり職員の名札の改善や、消防団との避難訓練をしたらどうかの意見により消防団に参加をしていただきました		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明している。今は、入院3週間後、退院のめどがつかない場合(医療行為が必要)は退所となっております。かかりつけ医院に入院となる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応を外部の講師より職員会議にて勉強会を行いました。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防団の方に避難訓練時参加していただきました。火災・土砂災害想定での避難訓練を年に3回実施しております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様へ敬語にてお話しております。又個人のお部屋への入室時(戸締り・掃除等)声かけをしております		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様が入浴後の洋服を決めたり、外食時は好きな食事を選んでいただいております		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人ペースに合わせ生活しております		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	夏祭りでは、ゆかたを着られたり、行事の時はお化粧をしたりされております。毎朝鏡をみてのブラッシングしていただいております。髪の毛のカットもその方にあった髪型・希望に沿うよう努めております		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	肉嫌いの方は魚料理に変更したり。麺類の時はおいぎり等の支援をしております。誕生日会のケーキは利用者様の手作りです		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量の一日の目安の表を用い水分摂取に心がけております。食事量の少ない方には、医師の指示にてエンシュアにて栄養摂取しております		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人で口腔ケアの方法は異なります。毎食後のケアに努め特に夕食後は、口腔用スポンジを使用してケアを行う利用者様もいらっしゃいます。夜間は、義歯のポリドントにての洗浄をしております		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレ誘導を定期的に行っております。(排泄チェック表を確認し誘導)なるべく布パンツ使用を心がけております		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取と運動をしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日は決まっておりますが、本人さん希望により一人で入浴される方、最後にゆっくり入りたい方、利用者様の意見を取り入れ施行しております		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様のペースにて入床時間は異なります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は、個人の日誌につけております。いつでも職員がみられるようになっております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自室に仏壇があり毎朝お花の水やりや、お茶・水・ごはんを備えております。生活歴を取り入れた運動や、みなさん役割があり、日々実践しております。又CDラジカセ・TVを自室においている方もいます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外食・花見等は利用者様の意見を聞き決めております。又、近隣のもちつき大会に参加、ペーロン大会では、地域の方がテント・椅子の用意をしてくださいます。地域のおくちにも銀行の方より椅子を用意していただくなどの支援もあります		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時には、好きな物を買えるように支援をしております		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状を出したり、電話はかけたり、かかってきたりしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	消臭にきく炭等をおいたり、ブラインドにて居室の光の管理をおこなっております		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファがあり、気の合う方が一緒に座りお話し・歌を楽しむことができます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、自宅から持ってきた家具・遺灰を置いている方もいらっしゃいます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	てすりがあります。廊下のですりにて運動を実施している利用者様がいらっしゃいます。トイレ・風呂の場所がわかりやすいように大きく表示しておりトイレは便所とかいております		